

要支援者が有する課題と地域資源・需要とのマッチング まとめ

【若年層(就労可能な層)】

(課題)

- ・就労が続かない(日雇労働)
 - ←気にかけてくれる人がいない。(地域の世話人など)
- ・住まいの確保が必要
- ・生活保護を受けると働かない
- ・逃避癖がある。
- ・作業スピードについていけない。
- ・生活保護からHW以外の就労支援が必要。
- ・一緒に働く友人がいない。

(需要)

- ・日雇就労
 - ←高度化して求められるレベルが上がっているため、1人前にしていく仕組みが必要。

(資源)

- ・家賃を待ってくれる物件
- ・朝起こしてくれる管理人
- ・中間就労の場(民間ベースでは困難)
- ・住まいに近いところで気にかけてあげる体制(法制度等が必要)

【若年層(就労困難な層)】

(課題)

- ・地図が読めないなど、知的障がい疑われる。
- ・能力が低いと言われる人が生きていく場所

(資源)

- ・ケース会議に参加してくれる福祉関係者
 - ←無給も多く、そこへの手当が必要

【高齢者層(主に生保受給者)】

(課題)

- ・医療へのつなぎ(現状は少ない)
 - 特に入院時に困ることが多い
- ・退院後にもフォローが必要である。